

# 人権パネル「考えてみよう人権のこと」

## 障害者の人権

### 障害のある人が地域で安心して暮らせるために

障害のある人もない人も、誰もが社会の一員として、自然環境、地域の中で安心して暮らせます。暮らしやすい社会をつくるには、障害のある人も、障害のない人も、ともに生活できる社会を築くことが大切です。

#### ノーマライゼーションの実現をめざして

障害のある人を排除するのではなく、一般の人の中で暮らす生活が可能な環境を整えることが、ノーマライゼーションの実現につながります。ノーマライゼーションとは、障害のある人もない人も、ともに生活できる社会を築くことです。

#### 目に見えやすいバリア

段差や住宅の段差、駅構内のスロープやエレベーターの設置、車椅子の駐車スペースの確保など

#### 目に見えないバリア

身体障害者補助犬の理解不足、盲導犬の訓練士の不足、聴覚障害者のコミュニケーションの困難など

#### 心のバリアフリーをめざして

障害のある人への偏見や差別、差別意識による行動の偏りなど、心のバリアフリーをなくすることが重要です。そのために、心のバリアフリーを推進する「人権教育」が重要です。

#### 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)は、障害のある人に対する差別の解消を目的として制定された法律です。

## 障害のある人を虐待から守るために

### 3種類の虐待を予防

虐待とは、障害のある人に対する身体的、精神的、経済的虐待を指します。虐待を予防するためには、障害のある人に対する理解を深め、虐待を未然に防ぐことが重要です。

#### 身体的虐待

暴力や脅迫による虐待、身体的虐待、身体的虐待、身体的虐待

#### 精神的虐待

侮辱や脅迫による虐待、精神的虐待、精神的虐待、精神的虐待

#### 経済的虐待

経済的虐待による虐待、経済的虐待、経済的虐待、経済的虐待

#### 虐待になる行為とは...

身体的虐待、精神的虐待、経済的虐待

#### 虐待を受けた人は...

虐待を受けた人は、身体的、精神的、経済的被害を受ける可能性があります。

## 誰もが暮らしやすい社会へ

### 誰もが安心して暮らせる社会を築くために

誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、障害のある人もない人も、ともに生活できる社会を築くことが重要です。

#### ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、障害のある人もない人も、ともに生活できる社会を築くためのデザインです。

#### 誰もが安心して暮らせる社会を築くために

誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、障害のある人もない人も、ともに生活できる社会を築くことが重要です。

#### 誰もが安心して暮らせる社会を築くために

誰もが安心して暮らせる社会を築くためには、障害のある人もない人も、ともに生活できる社会を築くことが重要です。

## 同和問題について正しい理解を

### いまだに残る差別意識を解消するために

#### 同和問題とは

同和問題は、戦後、日本社会で起こった差別意識の解消に関する問題です。

#### 誰にとっても無関係ではない同和問題

同和問題は、誰にとっても無関係ではない問題です。

#### 同和問題は具体的にどんな形で現れるのでしょうか

同和問題は、具体的に差別意識、差別行為、差別意識の解消に関する問題です。

## 同和問題解決のための本音の発露

### 同和問題解決のための本音の発露

同和問題解決のための本音の発露は、差別意識の解消に関する重要な取り組みです。

#### 学校での人権教育と同和問題

学校での人権教育と同和問題は、差別意識の解消に関する重要な取り組みです。

#### えせ同和行為

えせ同和行為とは、差別意識の解消を名目に、差別意識を助長する行為です。

## インターネットによる人権侵害

### インターネットにもルールとマナーが必要

インターネットによる人権侵害は、インターネットの普及に伴って増加しています。

#### インターネットにもルールとマナーが必要

インターネットにもルールとマナーが必要であり、人権侵害の防止が重要です。

#### 子どもとインターネット

子どもとインターネットは、インターネットの普及に伴って増加しています。

## 外国人の人権

### 人権を尊重した豊かな地域づくり

#### 進みつつある国際的交流

国際的交流は、進みつつある国際的交流です。

#### 多文化共生の推進

多文化共生の推進は、多文化共生の推進です。

#### ハイトスピーチ

ハイトスピーチとは、外国人の人権を尊重するための取り組みです。

## 性的マイノリティの人権

### 性とわかれず、個性を認め合える社会の実現

#### 性的指向

性的指向とは、性的指向に関する問題です。

#### 性別違和(性同一性障害)

性別違和(性同一性障害)とは、性別違和に関する問題です。

#### 性的マイノリティがかかえる悩みや困難

性的マイノリティがかかえる悩みや困難は、性的マイノリティに関する問題です。

## 福井県人権センターの取組み

### 1 県民からの人権に関する相談

人権相談員が面談や電話などで相談を受け付けます。

### 2 企業や地域の方からの依頼による出前講座

人権研修の開催として、人権相談員を派遣いたします。

### 3 人権に関する図書やDVDの貸出し

人権に関する図書やDVDを無料で貸出しします。

#### 福井県人権センター(アオサザ階)

福井県人権センター(アオサザ階)は、人権に関する相談や講座を開催しています。

# 拉致問題啓発パネル

**拉致問題に関する動き**

- 1977年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1980年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1981年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1982年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1983年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1984年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1985年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1986年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1987年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1988年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1989年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1990年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1991年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1992年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1993年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1994年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1995年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1996年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1997年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1998年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 1999年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2000年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2001年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2002年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2003年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2004年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2005年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2006年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2007年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2008年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2009年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2010年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2011年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2012年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2013年 北朝鮮による日本人拉致事件発生
- 2014年 北朝鮮による日本人拉致事件発生

**北朝鮮による日本人拉致問題**

## すべての拉致被害者の 帰国を目指して

—北朝鮮側主張の問題点—

**政府 拉致問題対策本部**

### 北朝鮮による日本人拉致問題とは

1978年から1988年にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在、17名が政府によって拉致被害者として認定されています。また、政府認定した被害者以外にも、いわゆる「非認定被害者」として拉致された被害者も数人います。

平成14(2002)年9月の第1回日朝首脳会談において、北朝鮮が日本人を拉致したことを認めた。その後、北朝鮮側から被害者も帰国した。しかし、政府認定被害者については、いまだに帰国していない被害者が存在します。

① 「非認定被害者」は、政府認定した「認定被害者」の親戚や、拉致された被害者がいるという事実を認めない北朝鮮側が主張している。

### 北朝鮮側主張の問題点

北朝鮮側は、次のように主張しています。

- 政府認定の拉致被害者17名のうち8名は死亡、4名は北朝鮮に入国しない。
- 北朝鮮側認定の被害者は数千人と推定。死亡した者については十分な情報提供を行わず、遺骨も2人しか提供しない。
- 日本側は、死んだ被害者を生かそうとする理窟な要求をしている。

しかし、こうした北朝鮮側の主張には以下のように多くの疑問があり、日本政府は、北朝鮮側の主張を信じて受け入れることはできません。そして、被害者の「死亡」を裏付けるものが一定数ないという点も、被害者が存在しないという主張によって被害者の存在を認めないという理窟を行きよう求めています。日本政府は、決して「理窟な要求」をしてはなりません。

**拉致問題は、一刻も早く解決しなければならぬ問題です。**  
この点では、拉致問題に関する従来の北朝鮮側主張の問題点について説明します。

### 1 8名の「死亡」には不自然な点が多く、これを裏付ける客観的な証拠がまったく提示されていない。

8名の死亡が、20年〜30年の長きにわたって、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実です。しかし、北朝鮮側は、死亡した被害者の遺骨や遺品、あるいは死亡した被害者の家族からの連絡など、客観的な証拠を提示していません。

| 被害者名  | 年齢 | 性別 | 死亡年   | 死亡場所 |
|-------|----|----|-------|------|
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |
| 高橋 洋子 | 28 | 女性 | 1983年 | 北朝鮮  |

この中には、政府認定被害者以外の被害者として認定された被害者も含まれています。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実が、客観的な証拠を提示していません。

**(1) 被害者の遺族が一切存在しない**

高橋洋子(28歳)の遺族は、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

**(2) 死亡を裏支える真正被害者が一切存在しない**

「真正被害者」は、平成14(2002)年9月日朝首脳会談で政府認定被害者として認められた。また、認定被害者として認められた。また、認定被害者として認められた。

**死亡情報**

平成14(2002)年に認定された8名の死亡情報。北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

**認定被害者情報**

認定被害者として認められた被害者の情報。北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

### 2 北朝鮮側には、不自然かつ疑念な点が多く、また、被害により判別している事実や被害被害者の証言との矛盾も多く、取柄全体の信憑性が疑われる。

(1) 疑念ある点

- 北朝鮮側の「死亡」については、認定被害者とは、死亡の事実、(遺骨)の提供、遺品などの提供が認められていない。
- 北朝鮮側の証言は、北朝鮮側の証言と一致しない点が多く、その矛盾、被害被害者の証言により、北朝鮮側の証言を信じていないことが、日本政府として認められている。その結果として、死亡した被害者の数は、17名と推定されている。

● 北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

● 北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

● 北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

● 北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

**① 高橋洋子(28歳)の死亡情報が提示され、客観的な証拠が提示されていない。**

北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

**② 死亡を裏支える真正被害者が一切存在しない。**

認定被害者として認められた被害者の情報。北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

**③ 死亡を裏支える真正被害者が一切存在しない。**

認定被害者として認められた被害者の情報。北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。また、北朝鮮側が発表してきた死亡の事実を認めない。

知事・市町長人権メッセージパネル

